



# 市議会だより

No.216 令和元年7月25日  
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地  
☎042(551)1511(代表)  
☎042(551)1523(直通)



▲新たな議会がスタート

令和元年  
第2回定例会  
6月11日～28日

## 改選後の初定例会が行われました 「交通運賃割引制度」の精神障害者へも 適用を求める意見書を提出

### 令和元年第2回定例会

令和元年第2回定例会は、6月11日から28日まで会期18日間で開催され、18名の議員による一般質問が行われました。

今定例会では、福生市基本構想(第5期)の策定、条例の一部改正(一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算など市長提出議案16件、天皇陛下ご即位「賀詞」奉呈を含む)委員会提出議案2件が審議されました。また、新たに提出された陳情3件のうち、1件は採択、1件は不採択、1件は継続審査となりました。

### 天皇陛下ご即位 「賀詞」奉呈

天皇陛下におかれましては、風薫る良き日にご即位されましたことは、誠に歓喜に堪えないところであります

天皇皇后両陛下がご清祥であられ、令和の時代が悠久の歴史に新たな希望と光を添えるものとなりますよう心からお祈り申し上げます

ここに福生市議会は、市民を代表して、謹んで慶祝の意を表します

令和元年六月二十八日  
福生市議会議長

清水義朋

### ● 主な内容 ●

- ◆一般質問(要旨) …… 2～5面
- ◆第69回福生七夕まつり …… 5面
- ◆議案の審議結果 …… 6面
- ◆可決された案件 …… 6面
- ◆委員会の審査 …… 7面
- ◆特別委員会活動 …… 8面

### ◆ 会議の 開催状況と 審議日程 ◆

会期18日間

▼6月

- 11日 第2回定例会1日目  
議会運営委員会
- 12日 第2回定例会2日目  
議会運営委員会
- 13日 第2回定例会3日目  
議会運営委員会
- 14日 第2回定例会4日目  
全員協議会
- 18日 建設環境委員会
- 19日 市民厚生委員会
- 20日 総務文教委員会
- 21日 横田基地対策特別委員会
- 25日 議会  
議会改革に関する協議会
- 25日 議会運営委員会
- 28日 第2回定例会5日目  
全員協議会  
議会運営委員会

# 一般質問（要旨）

## 「市政のここを問う」

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は8月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP  
(通告一覧へリンクします)

### CV-22オスプレイとC-130Jなどの低空・夜間飛行について

正和会  
杉山 行男 議員

**質問** 低空飛行時の高度を市は確認しているか。夜9時を超えての飛行訓練に対する市民からの苦情とその対応は。また、高度測定器を設置する用意はあるか。

**市長** 高度が低いほど騒音は大きい。日米合意の制限は午後10時から午前6時までだが、それ以外の時間でも夜間の騒音は市民生活への影響が大きい。市に届いた苦情は、その

都度、国に連絡している。基地に起因する問題は国が責任を持って対策するべきで、市で高度測定器を設置する考えはないが、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から国に対して飛行高度の日米合意遵守状況確認のための調査を求めている。

#### [防災訓練時の公衆電話の活用について](#)

**質問** 災害避難場所に設置されて

いる災害時用特設公衆電話回線の設置状況と、災害時の活用について伺う。

**市長** 避難施設での早期の通信手段確保を目的にNTT東日本が配備を進めているもの。現在、防災食育センターなど指定避難所12施設に配備、残り5施設も順次導入予定。災害時は避難者の安否確認や緊急連絡のほか、防災無線不通時の災害対応の連絡手段にも活用したい。



▲防災訓練での災害伝言ダイヤルのブース

### 高齢者の交通安全対策について

自民党福生  
町田 成司 議員

**質問** 市内では幸いにも悲惨な事故は起きていないが、昨今の高齢者による交通事故の現状をどう捉え、考えているかを伺う。

**市長** 警視庁の統計では、都内の交通事故件数は年々減少する一方で、65歳以上の高齢者の運転が関与した事故は増加が続き、平成30年中は全体の31.6%。その中で、本市では24.7%で23区・26市で最も低かった。

今後もさらなる事故減少のため、交通安全意識の向上を図りたい。

#### [通学路の交通安全対策について](#)

**質問** 毎年、交通安全確保のため通学路点検を行っていると思うが、平成30年度の内容は。また、通学路の設定手順についても伺う。

**教育長** 昨年度は、5月に起きた下校中の児童殺害事件による文部科学省など4省庁の緊急点検の実施通

知を受け、例年10月の実施を1カ月前倒した。学校等からの聞き取りによる89件の要望をもとに現地を調査し、改善対策を実施。交通関連では速度抑制などの看板やカーブミラー等の設置、修繕などを行った。通学路の設定は、都条例に基づき管轄の警察署長から犯罪被害と交通事故防止への意見を聴取した上で、学校等の管理者が主体的に行っている。



▲高齢者向け交通安全講習会の様子

### 市営木造住宅の現状について

正和会  
小林 貢 議員

**質問** 概要と現在の戸数や入居率、敷地総面積等について伺う。

**市長** 昭和31年度から32年度に建設した5か所の市営住宅のうち、第一、第四、第五の3か所に木造住宅が設置されている。平成30年度末現在、第一が6戸、第四が7戸、第五が1戸の合計14戸で、14世帯21人が居住、入居率は100%。敷地面積は14戸合計で約2,300平方メートル。

#### [今後の跡地の利用計画について](#)

**質問** 入居者退出後に建物が撤去され、一部は空き地として長年放置されているものもある。今後の跡地利用の計画は。

**市長** 平成16年度に市内に未利用地等検討委員会を設置し、総合的な市有地等のあり方や個別の活用方法を検討、平成19年3月に報告書を取りまとめた。市営住宅跡地は当面駐

車場用地としての活用や定期借地権制度による個人住宅用地としての活用等の検討を進めると位置づけている。また、昨年2月には市内での施策検討会において第一市営住宅の跡地利用を検討した。市域の狭い本市での跡地は貴重な財産であり、さまざまな施策に活用できる可能性がある。定住化施策の推進なども視野に入れ、効果的な活用を検討したい。



▲第一市営住宅

### 東福生駅のバリアフリー化について

正和会  
幡垣 正生 議員

**質問** 駅周辺地域の市民にとっては長年の願いだが、今後の見通しは。

**市長** 東福生駅は、国の移動等円滑化の促進に関する基本方針に掲げる1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄道駅に該当、令和2年度までに原則エレベーター等を整備する駅となったことから、JR東日本八王子支社と協議を開始、平成29年度に7回、30年度には2回実

施した。本年1月に行った支社長との懇談では、駅を含む周辺のバリアフリー化について私が直接要請を行ったが、整備計画の内容や費用負担の面で調整は難航している。利用者の安全性と利便性向上のため、引き続き粘り強く交渉を進めていく。

#### [クビアカツヤカミキリ被害の現状と対策について](#)

**質問** 樹木の害虫で、本市では平

成27年に発見されている。被害の現状と対策を伺う。

**市長** 昨年度の調査で多摩川堤防沿いの桜並木で50本、旧ヤマジュウ田村家住宅の桜1本で被害を確認した。今年度はこれらの木に幼虫駆除の防除剤注入や成虫拡散防止のネットを巻く等の対策及び見回りを実施している。市民説明会を始め、引き続き今後も情報提供を行う。



▲東福生駅の様子

## アレルギーを持つ子どもの対応について

公明党  
青木 健 議員



▲アレルギー給食の調理の様子

**質問** 我が国のアレルギー保有者は増加傾向で、特に若年層に多い。アレルギーを持つ子どもに対する本市の取り組みの現状と課題を伺う。

**市長** 乳幼児期には、3～4か月児健康診査時に離乳食開始時期に合わせた栄養に関する情報を提供しており、アレルギーを心配する保護者へは栄養士の個別相談も行う。保育園ではアレルゲンの除去食を個別に

つくっている。必要以上にアレルギーを心配し、誤った対応をする保護者がいるため、正しい情報の周知が課題。また、アレルギー確認の際、外国籍の保護者に外国語での対応が必要なケースが増加、多言語通訳サービス等で慎重に対応を行う。

**教育長** 児童・生徒のアレルギー疾患を始め健康状態の把握のため、毎年保護者に保健調査表を、さらに

配慮や管理が必要な場合は学校生活管理指導表の提出をお願いしている。教職員には不測の事態に備えアレルギーやエピペンの研修を実施。給食では特定原材料を除去または代替した対応給食を提供。課題は保護者の理解啓発で、研修会や保健だよりでの周知、防災食育センターの視察見学や市ホームページ上での対応給食の献立レシピも活用し啓発に努める。

## わらつけ街道の歩行者の安全確保について

正和会  
山崎 貴裕 議員



▲ALT (外国語指導助手) による授業の様子

**質問** わらつけ街道は幅員の狭い生活道路であるが、国道16号の抜け道として交通量が多い。通学路にも指定されており、何らかの対策が必要ではないか。

**市長** わらつけ街道は、道路の幅員や形態変更等の抜本的な安全対策が困難なことから、交差点周辺のカラー舗装や速度抑制に関する路面標示、歩行者保護のためのボラードの

設置、朝夕の時間帯での車両の流入規制等を行っている。今年度は、五日市街道から教会踏切までの区間で路肩部分にカラー舗装を行うなど、さらなる安全対策を実施する。

### 小・中学校のこれからの英語教育について

**質問** 福生市英語教育推進計画に基づいた英語教育は良い効果が出ていると思うが、今後の英語教育への

取り組みについて伺う。

**教育長** 令和4年度入学の都立高校入試からスピーキングテストが導入される予定であり、今後、中学校の新学習指導要領に沿い、英語の読む、書く、聞く、話すの4技能のバランスのとれた指導を一層充実させるほか、小・中学校において身に付けた英語によるコミュニケーション能力を総合的に養っていく。

## 東京オリンピック・パラリンピックにおける子どもの競技観戦について

公明党  
堀 雄一朗 議員



▲福東テニスコート

**質問** 東京都教育委員会は、昨年、都内の子どもたちが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を学校単位で直接観戦する機会の提供を発表し、意向調査も進めているが、福生市の考えを伺う。

**市長** 切符や競技の割り当て等の具体的な話はまだ聞いていないが、子どもたちの記憶に残るよう、ぜひ大会を見てもらいたい。

**教育長** 1回目の意向調査で、福生市としては、全小・中学校で直接観戦の希望があると回答した。暑さ対策や会場への移動等の課題があるが、教員や保護者に協力いただき、一人一人の子どもに心のレガシーを残せるよう努めたい。

### スポーツ施設の適切な管理の推進について

**質問** 福生市は市立体育館が3館

整備されており、近隣自治体と比較して市民1人当たりのスポーツ施設の整備率も高いが、スポーツ施設の適切な管理の推進について伺う。

**教育長** 既存施設は、老朽化対策や大規模改修による長寿命化を検討する必要性が増しているが、利用者のニーズに対応した利便性や快適性の確保、施設の適切な維持管理、改修、備品等の充実を図っていく。

## 福生市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況と総括について

生活者ネットワーク  
三原 智子 議員



▲福生市子ども・子育て支援事業計画

**質問** 本年度が最終年度となる第1期計画の進捗状況と総括は。

**市長** 令和元年度の基本施策の事業数は201事業で、昨年度の進捗状況評価がA評価(実施率90%以上)の事業は89.9%である。市民アンケート結果から、多くの市民が市の子育て支援策を評価していると考えている。

**質問** A評価に至らなかった事業の対応を伺う。

**子ども家庭部長** 小規模保育事業の開設があるが、認可保育園を建て替え、低年齢児の定員拡大を図っている。

### 同計画の第2期計画について

**質問** 第2期計画策定に向けてのスケジュールや方向性を伺う。

**市長** 来年3月の計画策定を目指し、現在、課題整理を行い、計画の方向性や施策の体系についてまとめ

ている。第2期計画では、放課後児童対策や児童虐待への対策等を盛り込み、出生前から18歳まで切れ目のない継続した支援を目指す。

**質問** 市民アンケート結果を第2期計画にどのように反映させるか。

**子ども家庭部長** 子どもたちの生活習慣や考え方や保護者の回答結果とクロス分析し、子育て支援の施策に生かしていく。

## 大人のひきこもりをめぐる課題(8050問題等)について

公明党  
五十嵐 みさ 議員



▲「ひきこもりサポートネット」のリーフレット(東京都)

**質問** 内閣府の調査によると、40歳から64歳までのひきこもりは全国で61万人に及ぶと推計されており、80歳代の親が50歳代の子どもの生活の面倒を見る8050問題にもつながっている。この問題に対する市の所見や支援等の取り組みについて伺う。

**市長** ひきこもりの方を抱えたご家族等から相談を受けた際は、意向を確認した上で、都の事業である

「ひきこもりサポートネット」につなげたり、東京都西多摩保健所を案内し、専門的な相談を受けていただくなどの対応をとっている。より多くの方に相談窓口を知っていただくことが重要であり、市のホームページに掲載したり、保健センターにチラシを配置するなどして周知を図っている。

### 校庭の開放について

**質問** 校庭開放は多くの団体が利用しているが、市のイベント開催時に校庭が駐車場として使用されて利用できない場合に、代替施設の相談や紹介などのコーディネートができる窓口が必要ではないか。

**教育長** 施設の空き状況や相談等については、校庭開放を担当しているスポーツ推進課に問い合わせただければ、ご案内が可能である。

## 特定健康診査、特定保健指導の目的と受診率及びその評価について

正和会  
小澤 芳輝 議員



**質問** 特定健康診査、特定保健指導の目的と受診率及び評価について伺う。

**市長** 特定健康診査は、40歳から74歳を対象に行い、市民の生活習慣病に対するリスクの予防、発見、改善を目的とする。また、健診結果を踏まえ、特定保健指導を受けることで、みずからの意思で行動を変えることによって健康課題を改善し、生

活習慣病の重症化を予防することができる。福生市においても、第3期特定健康診査等実施計画に基づき取り組みを進めている。平成29年度の受診率は、特定健康診査は49.1%だが、特定保健指導は6.9%と低くなっており、受診率を向上させることが重要である。

**質問** 平成29年度の特定保健指導の実施率は非常に低いとのことだが、

実際特定保健指導の対象者の人数はどのくらいか。また、特定保健指導を受ける人数の見込みは。

**福祉保健部参事** 平成29年度の特定保健指導の対象者の人数は、積極的支援157人、動機づけ支援411人、計568人となっている。受け入れ人数は、実績等を勘案し、積極的支援50人、動機づけ支援120人と見込んでいる。



▲特定健康診査で配付しているリーフレット

## 不登校に関する基本的な考え方について

正和会  
石川 義郎 議員



**質問** 不登校の定義は何か。また、福生市の不登校の人数や出現率などの現状を伺う。

**教育長** 不登校について、文部科学省は、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にあり、年間30日以上欠席した者と定義している。福生市の平成30年度の不

登校の人数と出現率は、小学校は33人で1.37%、中学校は72人で6.46%となっている。

### 不登校対策の具体的な取り組みについて

**質問** 福生市は、不登校に関して積極的かつ先進的な取り組みを行ってきたが、その具体的な内容について伺う。

**教育長** 平成26年度から個別支援

カルテを導入し、個々の児童・生徒に合わせた的確な指導、支援を届けるとともに、中学校では週に一度、校内委員会を開催し、不登校の生徒一人一人の状況を的確に把握して計画的・組織的な支援を行っている。その他、学校の取り組みを支える人的配置や体制の強化、不登校児童・生徒へのタブレットの活用など、さまざまな対策を実施している。



## 公共施設の複合化に見る可能性と効果について

正和会  
佐藤 弘治 議員



**質問** 昨年視察した岐阜市の図書館を中心とした複合施設では、交流人口の増加に成功している。このように施設の可能性を広げ効果を生むためには何が必要と考えるか。

**市長** 複合化は施設間の機能重複の解消や設備共有化等で効率性を高め、維持管理や更新費用の抑制と市民への利便性向上が期待できる。各施設の機能がしっかりと連携するこ

とにより、単体ではできない事業が生み出されるなど可能性が広がり、効果を発揮できると考える。

### コミュニティ・スクールの制度導入による学校と地域の関係性について

**質問** 以前の質問では、コミュニティ・スクールは学校での教育目標の達成が目的だが、その過程での協力・協働により活力が生まれ、地域を活性化できるとの答弁だった。制

度導入以後、両者にどのような効果があったか。また、課題はあるか。

**教育長** 毎月のコミュニティ・スクール委員会の開催で、地域に学校への理解と校長のビジョンの浸透が見られ、協力者の増加を実感している。委員会提案による老人ホームとの交流など、新たな活動も生まれている。より一層の理解と交流が課題と考えるので、推進に尽力したい。



▲コミュニティ・スクールでの茶道体験の様子

## 「子育てするならふっさ」のスローガンの意図について

立憲民主党  
市川 佳樹 議員



**質問** 「子育てするならふっさ」のスローガンは、どのようなことを最終目的として掲げられているのか。

**市長** 活力ある地域社会の維持のため定住化施策に重点的に取り組んでいるが、特に子育て世代をターゲットに、住んでみたい、住み続けたいまちの実現を目指し、支援策の充実した自治体であることを市内外へ強くアピールするため使用している。

### 子どもの貧困に対する考え方と取り組みについて

**質問** この国の子どもの7人に1人が貧困と言われる。本市における子どもの貧困についての認識と、どのような取り組みがあるかを伺う。

**市長** 生活保護世帯へは保護費の児童養育加算や母子加算、小・中学生を含む世帯への教材費や学校給食費等の実費支給、高校受験料・入学

金等の支給など。生活困窮家庭には学習サポートや相談等を行う子どもの居場所を設置。また、受験料や学習塾等受講料を無利子で貸し付け、進学した場合は申請により返済を免除している。子どもの貧困は経済状況に大きく左右されるので、市町村が独自に施策を行うのはなじまない面もあるが、国や都の動向を注視しながら推進していきたい。



▲「子育てするならふっさ」のロゴマーク

## 幼保無償化について

正和会  
武藤 政義 議員



**質問** 今年10月からの幼保無償化実施に向けて準備を進めていると思うが、現時点での概要を伺う。

**市長** これまでのひとり親や多子世帯、年収など条件による段階的な無償化だったものが、3歳から5歳までの児童のほぼ全世帯、0歳から2歳児は住民税非課税世帯が対象となる。幼稚園や認可保育所、認定こども園等の利用料が無償となり、適

用範囲や上限額は児童の年齢や利用施設、住民税非課税等で異なる。

### 公共施設の老朽化について

**質問** 平成29年3月策定の福生市公共施設等総合管理計画に基づき個別の施設計画を策定することだが、施設ごとの方向性の判断や仕分けはどのように行っていくのか。

**市長** 建物については平成30年度導入の公共施設マネジメントシステ

ムを活用、施設に係るコストや利用状況、設備の機能及び劣化度合いなどの情報から評価を行い、長寿命化、建て替え、大規模修繕などの方向性を定める。また、おおむねの更新時期を割り出し、周辺施設との複合化・集約化が図れないかを検討する。そのほかサービス、機能などのソフト面においても継続・改善・見直しの方向性を定めていく。



▲市内の認定こども園（牛浜こども園）

## 下の川緑地せせらぎ遊歩道公園の維持管理について

正和会  
串田 金八 議員



▲下の川緑地せせらぎ遊歩道公園の様子

**質問** 昨年度ののり面工事は緑地保全や景観に配慮されて行われた一方、清水坂脇では樹木の切り株やのり面の地肌が露出し、安全面で不安の声もあった。公園の維持管理についての所見を伺う。

**市長** 公園内の多くが東京都の指定した土砂災害警戒区域か土砂災害特別警戒区域に含まれるため、日常の管理のほかに市民の安全を守る対

策が必要。池や清水坂脇ののり面は、一部の樹木が成長により台風等で倒木のおそれがあり、剪定や伐採を行ったもので、植生が回復すればより安全性が高まると考える。今後も清掃などの日常作業に加え、パトロール等において表層崩落や玉石の落下防止など、市民が安心して楽しめるよう適切な維持管理に努める。

**令和元年度の防災訓練について**

**質問** 例年どおり開催されるそうだが、どのような訓練になるのか。

**市長** 令和初の福生市総合防災訓練は福生第五小学校をメイン会場とし、例年同様の住民参加型訓練も予定しているが、開催の10月には天皇陛下即位の儀に伴う関係機関の特別警戒活動等が予定され、消防署員の人員確保が不透明なため、内容については会場数も含めて検討中である。

## CV-22オスプレイが後部デッキを開き住宅上空で機関銃をむき出して飛行していることについて

日本共産党  
市毛 雅大 議員



▲CV-22オスプレイ(yokotajohoブログより)

**質問** 3月に、飛行中のオスプレイの後部デッキから機関銃らしきものを下に向けているのが目撃された。誤射や落下物の可能性があり、非常に危険だ。市民の安全・安心を守る立場から、住宅地上空ではデッキを閉じて飛ぶよう要請してほしい。

**市長** CV-22オスプレイの配備・運用に関しては、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で連携

して取り組んでいる。現時点ではデッキを閉じて飛ぶことの協議はなされていないが、昨年12月の国及び米軍への総合要請で「既存の日米合同委員会合意の遵守、訓練や機体の安全性に関する情報の迅速かつ正確な提供、安全対策の徹底、生活環境への配慮」を要請している。

**消費税増税について**

**質問** 本市では消費税が上がるこ

とにより、公共施設利用料など市民サービスへの影響はあるのか。

**市長** 現在、使用料・手数料の庁内検討会を開催し、消費税が10%へ引き上げられた際の影響額の算定を進めている。結果を踏まえ料金改定を行う場合もあるが、現行料金と著しい増減がない場合には据え置くことも考えられる。市民生活に大きな影響を与えないよう検討したい。

## 多子世帯に対する国民健康保険税の減免について

日本共産党  
池田 公三 議員



**質問** 均等割は家族の人数に比例して保険税が高くなり、多子世帯ほど、また低所得者ほど負担が大きくなり、滞納が増える要因にもなるのではないかと。福生市でも多子世帯に対する国民健康保険税均等割の減免を行うのはどうか。

**市長** 低所得者の均等割額について、被保険者の所得に応じて7割、5割、2割の軽減を行っている。多

子世帯ほど滞納が増えるという分析はしていない。子どもに係る均等割額の軽減について、市長会を通じて国へ要望していく。

**標準授業時数を大幅に上回る授業時数について**

**質問** 3月議会で、教職員の長時間労働の原因の一つとして、標準授業時数を大幅に上回る授業時数の存在を指摘したところ、災害や流行性

疾患による学級閉鎖等の不測の事態に対応するためとの回答があったが、その後の文部科学省通知では、不測の事態を過剰に意識する必要はないとしている。改めて対応を伺う。

**教育長** 本市の各小・中学校の授業時数は、学習指導要領に従い適正に実施している。文部科学省通知も各小・中学校に周知し、教職員の働き方への配慮を求めている。

## 幼児教育無償化について

公明党  
原田 剛 議員



▲ICTを活用した授業の様子

**質問** 本年10月から実施される幼児教育無償化について、特徴的な点と、福生市の無償化に向けての準備について伺う。

**市長** 無償化の対象者数の多さが特徴で、3歳から5歳の児童はほぼ全世帯、0歳から2歳の児童は住民税非課税世帯が、幼稚園、認可保育所、認定こども園や、それ以外の保育サービスが無償となり、広く経済

的負担が軽減される。現在、担当部署において、条例等の整備、予算編成、市民への周知等、制度開始へ向け準備を進めている。

**学力向上について**

**質問** ふっさっ子未来会議における六つの未来提言をもとに福生市立学校の学力向上策を策定し、推進してきたが、福生市の児童・生徒の学力向上についての現状と今後の取り

組みを伺う。

**教育長** 教員の授業力を上げる授業改善を恒常的に進めたり、学力調査の結果を分析したりすることで、課題の改善が図られ、福生市の児童・生徒の学力は徐々に向上している。今後、学びの質を高めるために、ICTの活用や、主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた取り組みを活性化していく。

## 第69回 福生七夕まつり 「和」くわく七夕、「洋」こそ福生へ!!

**祭** 8月1日(木)~4日(日)

今年も民踊パレードに参加します



昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景



# 議案の審議結果 (○:賛成 ×:反対 欠:欠席)

※議案第37号～第42号は6月14日に議決。  
そのほかの議案は6月28日に議決。

ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
<b>市長提出議案</b>								
議案第28号	福生市基本構想(第5期)の策定について	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第29号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	×	欠	○	○	可決
議案第30号	福生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第31号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第32号	福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第33号	福生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第34号	令和元年度福生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第35号	令和元年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	可決
議案第36号	福生第三小学校増築工事(建築)請負契約	○	○	○	欠	○	○	同意
議案第37号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第40号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第41号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第42号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第43号	市道路線の認定について	○	○	○	欠	○	○	可決
<b>委員会提出議案</b>								
委員会提出議案第1号	「交通運賃割引制度」の精神障害者へも適用を求める意見書	○	○	○	欠	○	○	可決
委員会提出議案第2号	天皇陛下ご即位「賀詞」奉呈	○	○	○	欠	○	○	可決

## 可決された案件(要旨)

### ●福生市基本構想(第5期)の策定について

福生市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、平成22年度に策定された福生市総合計画(第4期)の計画期間が、令和元年度をもって終了となる。社会環境の変化や新たな市民ニーズなどさまざまな新しい課題への対応を図るために、市制50周年を迎える令和2年度を初年度とする新たな総合計画を策定したく、その基本的な指針となる福生市基本構想(第5期)を策定するもの。

### ●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税に係る申告書及び非課税の範囲に関する規定並びに軽自動車税の環境性能割及び種別割に関する規定を整備するもの。

### ●福生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令の一部改正に伴い、災害保護資金の貸し付けに係る利率、保証人及び償還方法に関する規定を整備するもの。

### ●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

厚生労働省令の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者等による連携施設の確保に関する規定等を整備するもの。

●福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
厚生労働省令の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、学童クラブ支援員の認定資格研修に関する規定を整備するもの。

●福生市介護保険条例の一部を改正する条例  
介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和元年度及び令和2年度における第1号被保険者の介護保険料の減額賦課に係る、保険料率に関する規定を整備するもの。

●令和元年度福生市一般会計補正予算(第2号)  
消費税率引き上げに合わせた低所得者介護保険料の軽減強化のための介護保険特別会計繰出金の増額、並びに幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修費の追加などによる歳入歳出予算の補正に加え、債務負担行為を補正する必要が生じたため、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4522万4千円を追加し、予算総額を251億8150万9千円とするもの。

●福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
歳入では、低所得者保険料軽減負担金、母子家庭等対策総合支援事業補助金、子ども・子育て支援事業費補助金、医療保健政策区市町村包括補助事業補助金等が、歳出では、低所得者介護保険料の軽減強化のための介護保険特別会計繰出金、幼児教育・保育の無償化に伴う子ども子育て支援システムなどの改修費等が増額となっている。

●令和元年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
消費税率引き上げに合わせた低所得者の保険料軽減強化の実施に伴い、令和元年度における第1号被保険者保険料の減額、また、保険料を減額した額と同額を一般会計から繰り入れるため、歳入予算のみを補正するもので、補正額の合計は0円であり、歳入歳出予算の総額は補正前の額と同額となる。

●福生第三小学校増築工事(建築)請負契約  
福生第三小学校の校舎棟、エレベーター棟の増築、既存校舎棟の改修工事について、予定価格が1億5千万円以上となることから、福生市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について  
福生市議会議員として16年の長きにわたり市の発展に貢献された大野聡氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について  
福生市議会議員として16年の長きにわたり市の発展に貢献された田村昌巳氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について  
福生市議会議員として16年の長きにわたり市の発展に貢献された奥富喜一氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について  
福生市議会議員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された乙津豊彦氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について  
福生市議会議員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された末次和夫氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく一般表彰について  
監査委員として貢献された田村桂一氏、町会長、自治会長等として貢献された宮下義夫氏、中村良雄氏、学校歯科医として貢献された田邊稔氏、予防接種医として貢献された濱田洋二氏、田村啓彦氏、交通安全推進委員会委員として貢献された泉田勝雄氏、吉田義三氏、情報公開審査会委員及び個人情報保護審議会委員として貢献された長谷川由利子氏、明るい選挙推進委員として貢献された西條省子氏、消防団員として貢献され、現在もお活躍されている加藤光氏を一般表彰するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

●市道路線の認定について  
国道16号から旧奥多摩街道までの都道を市道として重複認定し、市道として移管を受ける区間の管理区域を定めるため、道路法第8条の規定に基づき、新たに市道として認定するもの。

●「交通運賃割引制度」の精神障害者へも適用を求める意見書は8面に要旨を、天皇陛下ご即位「賀詞」奉呈は1面に全文を掲載しています。

# 委員会の審査から

各常任委員会から報告された  
主な審査概要をまとめました

## 建設環境委員会

6月18日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇令和元年度福生市一般会計補正予算(第2号)

(建設環境委員会所管分)

問 町会・自治会に配備されるAEDについて、配備の状況と講習等の実施は。

答 AEDを設置している公共施設が近いこと、会館等を所有しておらず保管場所がないなどの理由により、全ての町会・自治会へではなく、12町会へ各1台を配備予定。配備後の講習等については、福生消防署等で実施している救命講習について情報提供していく。

◇市道路線の認定について

当該都道を市道と重複認定し、移管を受けようとするもの。

問 当該都道を市道に移管することによる効果とその後の管理等については。

答 当該都道は再開発区域に含まれるため、移管を受けることで再開発に関する都市計画決定を福生市都市計画審議会のみ



▲市道幹線1-7号線認定路線を現地視察

## 市民厚生委員会

6月19日に委員会が開催され、6件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は採択となりました。

◇福生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

問 保証人が必須ではなくなりましたが規定に追加された経緯は。

答 災害時、保証人を立てられない市民がいるこ



▲学童クラブの様子

とも勘案したが、あくまで貸付であること、モラルの観点から保証人の規定を追加するもの。  
◇福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
問 卒園後の受け皿について、市内の施設に影響は。  
答 対象は2園。優先的に入園できる連携施設の確保により影響はない。連携施設以外の市内の保育園に入園希望の場合は、利用調整において配慮する。  
◇福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
問 学童クラブ支援員の資格取得状況と配置については。  
答 職員のうち67・2%が資格取得者。資格を取得していない職員については、都が実施する認定資格研修の受講を推進する。学童クラブ支援員の配置については基準を満たしている。

問 都以外の研修を受けた場合は。  
答 都の研修を新たに受ける必要はなく、市の学童クラブ支援員として配置できる。  
◇福生市介護保険条例の一部を改正する条例  
問 令和元年度の保険料について、条例改正はこの時期で間に合うのか。  
答 低所得者の保険料軽減強化に伴う条例改正は、平成31年3月29日の介護保険法施行令等の公布後となったが、条例改正や規則制定が4月1日以降であっても利益遡及のため許容されることから、保険料の算定、納入通知書の発送に影響はない。

問 保険料軽減強化対象の保険料率については。  
答 国の軽減幅を超えない範囲内で市町村が定める割合を減らすことができるため、市独自割合の第二段階も含め国の軽減幅をそのまま減じ、低所得者に最大限配慮する。  
◇令和元年度福生市一般会計補正予算(第2号)

(市民厚生委員会所管分)  
問 保育所運営事業のシステム改良費の内容は。  
答 幼児教育・保育の無償化に伴い、多くの機能の変更が必要になるため、システム全体の改修を実施する。  
問 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特例給付金給付事業の内容と審査方法は。  
答 給付額は1人1万7500円で、未婚のひとり親に対し寡婦控除が適用された場合の標準的な減税額を給付する。対象者は約100人を見込んでいる。審査方法は、申請時に戸籍を提出していただき、内容を確認する。また、11月分の児童扶養手当の支給を受ける父または母という要件がある。

## 総務文教委員会

6月20日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決され、1件は継続審査となりました。

◇福生市基本構想(第5期)の策定について

問 目指すまちの姿はどのような考えに基づいているのか。  
答 基本構想審議会での協議の過程でキーワードとして「人」が挙げられた。「人」は、まちづくりの根幹に位置するもので、社会変化に柔軟に対応していく事で、明るい未来が待っているという期待を込め「人」や「夢」「未来」などの言葉を用い、これからの都市像を表現した。

問 第4期基本構想との違いと特徴は。  
答 第5期では、これまでの教育や福祉、安全・安心といった分野ごと、いわゆる縦割りの対応ではなく、組織横断的に行動できるよう作成した職員は分野ごと一つの見方だけではなく、多角的に施策の大綱を確認しながら事業を推進すること

◇福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問 非課税措置の対象となる単身児童扶養者の要件で、特別児童扶養手当の受給は要件となるか。  
答 児童扶養手当と特別児童扶養手当は別の制度で、あくまでも児童扶養手当の受給が要件である。なお、児童扶養手当の子どもの年齢要件は、原則18歳の年度末までだが、一定の障害をもつ子どもの場合、20歳未満まで対象となる。

問 消費税増税に伴う改正だが、延期になった場合の扱いは。  
答 再度の延期となった場合の方針は、国からの指示が東京都を通じて示される。

◇令和元年度福生市一般会計補正予算(第2号)

(総務文教委員会所管分)  
問 学校マネジメント強化事業で、これまでの効果は。  
答 教員が児童・生徒の指導や教材研究にかける時間がふえ、児童・生徒にかかわる時間の確保を図ることができた。働き方改革の観点からも、教員の業務負担の軽減がなされている。導入の前と後では、1カ月の在校時間が平均で8・6時間、これを日割りで計算すると、1日1人当たり、20分程度減少している学校もある。

## 議会運営委員会



▲増築工事が予定されている福生第三小学校

問 保健体育事務の中の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業委託料について、七夕まつりでのオリンピックによるトークイベントの内容は。  
答 七夕開催期間中の最終日に福生第一小学校体育館において、マラソン競技出身の有森裕子氏を講師に迎える予定。  
◇福生第三小学校増築工事(建築)請負契約  
問 請負業者の実績は。  
答 市外では狛江市の(仮称)北部児童館新築工事、港区立麻布幼稚園園舎増築工事、福生市内の実績としては、新扶桑会館整備工事やもくせい会館建築工事がある。

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

# 特別委員会活動から：

## 横田基地対策 特別委員会

6月21日に委員会が開催され4件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

- 1 平成30年度防衛補助事業等実施状況について  
障害防止工事補助事業は、小中学校の防音機能復旧（復機）事業など7事業を実施し、事業費3億2968万2千円、補助額2億6197万3千円であった。
- 民生安定施設整備補助事業は、新扶桑会館の建設、せせらぎ遊歩道公園の整備など4事業を実施し、事業費3億1076万2千円、補助額1億6015万7千円であった。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、5億2421万5千円の交付金を、第三小学校増築工事設計委託、福祉センター設備改良事業基金への積み立てなど7事業に充当して実施した。

2 令和2年度防衛補助事業概算要望について  
令和2年度防衛補助事業概算要望では、障害防止工事、民生安定施設整備について9事業を要望し、補助額の合計は、7億3530万7千円を見込んでいる。

### 3 横田基地周辺対策等

## 要望事項（案）について

例年実施している全委員による防衛省及び北関東防衛局への要請行動について、7月17日に実施することが決まった。また、要望事項案について協議を行った。要望事項は、CVI-22オスプレイの運用や安全性、今後の配備計画等に関する迅速かつ正確な情報提供、市が概算要望している令和2年度防衛補助事業の採択、横田基地周辺対策の充実、安全確保の徹底、騒音防止対策の推進など、全8項目である。



▲防衛省本省へ要請(7月17日)

## 4 横田基地に関する情報等について

①3月20日に、日米施設部隊による共同の消防訓練が横田基地で行われた。

②5月6日から5月12日の間、人員降下訓練が行われた。市民からの航空機騒音による苦情が5件あった。また、4月1日、3日、5月22日に事前の情報提供がなく、人員降

下訓練が行われた。

③5月13日から17日の間、サムライ即応監査という、有事における即応態勢の維持強化のための訓練が行われた。市民からの航空機騒音による苦情が2件あった。

④横田基地関係者の酒気帯び運転による物損事故が2件発生した。

⑤横田基地有志によるボランティア活動として、公園清掃と花いっぱい運動への参加の報告があった。

# 陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

- ◆不採択  
○辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求め（不採択理由）  
この問題については、普天間基地返還のためキャンプ・シュワブへ移設するものであり、新基地建設ではないと考えるが、そもそもこの問題は国防に関する国の専権事項であり、意に沿い難い。

## 「議会改革に関する協議会」を設置

本定例会中において、議会改革に関する協議会を設置しました。今後、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する事項について協議していきます。

## ご利用ください！インターネット議会中継



「市民に開かれたわかりやすい議会」を目指して、本会議の映像をインターネットで配信しています。傍聴に出かけることができない方も、ご自宅のパソコンでライブ映像をリアルタイムに、また、後日、録画映像をお好きな時間にご覧いただけます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像  
◆利用方法 市ホームページから、福生市議会「インターネット中継」にアクセス

## 「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523  
専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

## 次回定例会のお知らせ ◎傍聴におでかけください。

令和元年第3回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会 9月3日(火)~6日(金)・9月30日(月)
- ◆決算審査特別委員会 午前10時開会 9月10日(火)~13日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会 9月18日(水)~20日(金)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

## ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

# 討論

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

■賛成  
今回の改正は、個人の市民税に関しては、子どもの貧困に対応するためのものであり、また、軽自動車税については、消費税増税に伴う市民生活の安定化を図るものであることから、本条例に賛成である。

■賛成  
今回の改正は、消費税率引上げへの対応や、子どもの貧困対策として、一定の要件を満たした未婚のひとり親「単身児童扶養者」の非課税措置を含むものであることから、本条例に賛成である。

そのほか次の陳情に対しても討論がありました。

●辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情書

# 編集後記

4月に福生市議会議員選挙が行われましたので、6月に開催された令和元年第2回定例会から新しい体制となりました。6名の議員にとっては初めての定例会でしたので緊張されたことと思いますが、6名ともしっかりと市政に対して疑問を投げかけ、それぞれの思いを訴えていました。当日はご勇退された前議員の方も含め、大勢の方々が傍聴にお越しくださいました。次回以降も来ていただいで、福生市議会が市民の付託に込めている姿勢を確認していただければ幸いです。

6月の定例会が終わると、夏のイベントが目白押しとなります。福生市にとって一番大きなイベントは福生七夕まつりであり、市議会議員それぞれ関わり方が違いますが、七夕当日は会場でお会いできると思います。2日目の8月2日(金)には民踊パレードが開催され、今年も福生市議会有志で参加します。踊っている姿を見掛けましたらご声援をお願いします。

4年間の任期の始まりは滑り出し好調と言っようでしょう。今後とも福生市議会をよろしくお願ひ申し上げます。